

平成20年2月22日
ソニー生命保険株式会社

財団法人 アイメイト協会へ寄付金贈呈

～盲導犬の育成を通じて、一人でも多くの視覚障がい者の社会参加をサポート～

ソニー生命保険株式会社(社長:於久田 太郎)は「アイメイト使用による視覚障がい者の社会参加の支援」を目的として、平成20年2月22日に財団法人アイメイト協会へ寄付金の贈呈を行いました。

活動の趣旨

当社では、企業活動の一環としての社会貢献活動を、社員に推奨しております。そのひとつとして、平成9年度より毎年「視覚障がい者の社会参加の支援」を目的に、「アイメイト募金」を実施しております。この募金活動は、1年間に社員から寄せられた募金額に会社が同額の支援を行うマッチングギフト制度をとっており、その募金を盲導犬の育成を行う財団法人アイメイト協会に贈呈しております。

平成19年度は、全社員からの募金が約547万円集まり、会社の特別寄付金と合わせて1094万円の寄付金を贈呈いたしました。その結果、当社の盲導犬育成事業に対する寄付金の総額は、約1億2137万円となりました。

今後は、財団法人アイメイト協会に対して、引き続き寄付金の贈呈を行うとともに、子犬の飼育奉仕や盲導犬としてリタイヤした犬の飼育も検討してまいります。このように当社は、今まで以上に盲導犬の育成を通じて、一人でも多くの視覚障がい者の社会参加をサポートしてまいります。



(左)ソニー生命保険株式会社代表取締役社長 於久田 (右)財団法人アイメイト協会 塩屋理事長

～ 財団法人 アイメイト協会の概要 <http://www.eyemate.org> ～

日本で最初の盲導犬を誕生させた古い歴史を持ち、最も多くの優れたアイメイトを送り出している団体です。(平成19年には国産盲導犬第1号の誕生から50周年をむかえ、当協会が送り出したアイメイトは1000頭を超えました。)

アイメイト協会では、正規の訓練を受けたアイメイトを使用することにより、視覚障がい者の社会参加を助け、社会に適應する手段としての自主歩行を成功させるための事業を行っています。

なお、アイメイト協会の事業は、全国の目の不自由な人を対象としています。財政的には自治体からの委託費及び一般からの寄付や基金の収益金で運営されている非営利団体です。



以上